

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年01月30日

計画の名称	産業拠点へのアクセスを改善する道路整備												
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	牧之原市												
計画の目標	大規模工場増設、工業団地造成による産業拠点の本格稼働に合わせ、通勤車両並びに製造部品納入トラック等の円滑な交通を確保するとともに、周辺道路の整備を行うことで、地域内の安全安心な交通を確保する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,771	A	2,771	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	・産業拠点へ向う車両の分散化 ・産業拠点へのアクセス時間の短縮 交通結節点(東名高速道路相良牧之原IC及び御前崎港)から産業拠点入口までの走行時間の短縮 現況走行時間 - 完成後走行時間	0分	分	6分

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	牧之原市	直接	牧之原市	市町村道	改築	(他) 壱丁田北線	バイパス L=0.773km	牧之原市						1,410	-	
	A01-002	道路	一般	牧之原市	直接	牧之原市	市町村道	改築	(他) 大倉壱丁田線	バイパス L=1.545km	牧之原市						1,187	-	
	A01-003	道路	一般	牧之原市	直接	牧之原市	市町村道	改築	(1) 東萩間西原線	道路改良 L=0.635km	牧之原市						174	-	
												小計						2,771	
												合計						2,771	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H26	H27			
配分額 (a)	348	472			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	348	472			
前年度からの繰越額 (d)	55	195			
支払済額 (e)	208	667			
翌年度繰越額 (f)	195	0			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					



## 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：66 産業拠点へのアクセスを改善する道路整備

交付団体名：牧之原市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1) 基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
<small>(該当するものに○)</small> 1 国土形成計画全国計画 2 国土形成計画広域地方計画、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画 3 社会資本整備重点計画 4 環境基本計画 5 その他(第1次牧之原市総合計画H19～H27)	
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が期待できる。	○
2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○